

電子基準点網等の耐災害性強化により災害時でも地殻変動監視を継続する（全国47都道府県）

事業者：国土交通省 国土地理院

I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化



I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

対策名：No.97 電子基準点網等に関する緊急対策

事業名：電子基準点網等の耐災害性強化

- ポイント**
- 災害時でも安定して運用できるように電子基準点網等の耐災害性を強化
 - より安定した地殻変動監視とデータ提供により、防災・減災や復旧・復興に貢献

地域の概要・課題

電子基準点網は、全国約1,300か所に設置された電子基準点と中央局で構成されており、地殻変動監視や測量の他、ICT施工等の位置情報サービスにも広く利用されている重要なインフラです。

北海道胆振東部地震等の自然災害を踏まえ、電子基準点網等の緊急点検を行ったところ、災害時に地殻変動監視等の機能への影響が想定される施設等が判明しました。

事業の概要

電子基準点網等のうち、特に被災リスクの高い施設等について、浸水対策や停電対策等、耐災害性を強化する対策を実施しました。

【見込まれる効果】

電子基準点「長野」等に対して、電子基準点の外側を覆う等の対策を実施したことで、洪水や津波の浸水に対する堅牢性が高まり、水害時においても運用を確保できることが見込まれます。

電子基準点「市原1」等のバッテリーを更新したことで、停電時においても3日間にわたって安定して観測を継続できるようになり、停電時においても観測を継続できることが見込まれます。



I-3 避難行動に必要な情報等の確保